

たった一言で

小 四

「消えちまえ！」

今も、きつとこれからもわすれられない言葉です。お友達から言われたとき、心ぞうがどきつとして、なんて言っただらいのか分からなくて、笑ってわすれてしまおうと思いましたが。でも家に帰ってお母さんに話したら、なみだがどんどん出てきました。大好きだったわたしのおじいちゃんは、去年病気でなくなりました。おじいちゃんのすがたはわたしの前から消えて、見えなくなってしまう。消えてしまうことの悲しさをたくさん知りました。お

母さんは、

「そのお友達は言葉の大切さや意味を、分かっていないのかもしれないね。」
と言って、だきしめてくれました。

わたしが泣き止むと、お母さんは、一度口に出してしまった言葉は、その後いくら後かいても、もう口にはもどらないこと、たった一言でも、相手をよろこばせたり、悲しませたりすることがあることを教えてくれました。わたしは自分が言った言葉で、だれかを悲しい気持ちにさせたくありません。言葉で体はいたくならないけれど、心はいたくなります。目には見えないけれど、悲しい心のきずはずっと残ってしまうと思います。お母さんは、
「言葉は時にはごかいされて、うまく

伝わらないこともあるんだよ。」

と言いました。何だか少しむずかしいな、と思いながら聞いていると、仲よしのお友達のことを思い出しました。この間、お友達がかみの毛を切りました。すごくかわいくてに合っていたから、

「おかつぱ、かわいいね。」

と言いました。するとそのお友達のが暗くなつたように見えて、次の日からあまり話をしてくれなくなつてしまつたのです。わたしはどうしてだろう、となやみました。勇気を出して理由を聞くと、「おかつぱ」と言われたことがいやだったと話してくれました。わたしはすぐにあやまりました。お友達はいつもの笑顔になつて、仲よしにも

どりました。自分の言いたかつたことがうまく伝えられなくて、相手をいやな気持ちにさせてしまったら、「ごめんね」の一言が大切だと思いました。

「消えちまえ！」と言つたお友達は、どんな気持ちだったのかな。もしかしたら心に不安があつたり、何かいやなことがあつたりしたのかな。わたしはごかいしていないかな。明日、「元気？」
つて話しかけてみよう。

わたしは、みんながうれしくなるよ
うな、よろこんでくれるような一言は
何か、考えました。「ありがとう」

「すてきだね」「大好きだよ」という
言葉は、わたしも言われたらとてもう
れしくなるから、きつとよろこんでく
れると思います。反対に、自分が言わ

れたら悲しくていやな気持ちになる言葉は口にしないと心に決めました。悲しくてわすれられない一言ではなく、うれしくてわすれられない一言をたくさん言葉にして、伝えていきたいです。